



議会だより

市民の皆様と議会をつなぐ

# ぶんご おおの



鬼は、外～!  
福は、内～!

豆まき（三重幼稚園）

## 目次 CONTENTS

- 12月定例会 災害は補正で対応!! ...2
- 決算認定 .....3
- 視察研修 REPORT .....4~5
- 請願 陳情 .....5
- 一般質問 .....6~13
- 存続の願い届かず... .....14
- 特別委員会 .....14~15
- キラリ★ひと言 .....16

第3号

平成18年2月15日 発行

9月6日台風14号

12月  
定例会

# 災害は補正で対応！！

## 17億3,290万7千円

- 農林・公共施設の災害復旧費（専決処分）  
1億9,943万9千円
- 犬飼町久原浄水場の復旧工事費（専決処分）  
763万円
- 農業用施設災害復旧費  
9億18万2千円
- 林業用施設災害復旧費  
7,903万4千円
- 道路橋梁災害復旧費  
3億9,355万7千円
- 河川災害復旧費  
1億5,306万5千円

**平成**

17年第3回定例会は、11月29日から12月21日までの会期で開催しました。

一般会計補正予算（22億1747万2千円を追加、歳入歳出予算の総額274億1242万5千円）、特別会計補正予算、条例制定など27議案が提出され、いずれも可決されました。そのほか専決処分2件を承認、諮問（人権擁護委員の推薦）に同意、請願

2件を採択、3件を不採択、陳情3件を採択、1件を継続審査としました。議員発議6件は、旧緒方町馬場地区商業ゾーン整備事業の調査に関する決議を賛成多数で可決、他に意見書5件も全て可決。さらに、平成16年度の旧7町村一般会計歳入歳出など61件の決算では、緒方町一般会計分を除く60件を認定しました。

### 条例の制定

- 豊後大野市地域振興基金条例
  - 豊後大野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例
  - 豊後大野市長等の給与の特例に関する条例
- など

### そのほかの歳出

- 地域振興基金（合併特例債基金造成）  
5億円
  - 市道高畑・細長線（千歳町）改良工事費  
3300万円
  - 公営住宅（犬飼町久原住宅2期）建設工事費  
1億6505万4千円
- など

# 平成16年度決算認定

## 合併前の7町村決算、新市の1日決算

**今回**の決算は、合併前の7町村・大野郡東部消防組合・大野広域連合の平成16年4月1日から平成17年3月30日までの決算（打ち切り決算）、および平成17年3月31日の豊後大野市1日決算となっています。

緒方町の平成16年度一般会計歳入歳出決算には、中間地域等直接支払交付金事業の1億円を超過払いの約1/5が関係しています。また、旧緒方町馬場地区商業ゾーン整備事業もこの決算に関係しています。議会でも調査特別委員会を立ち上げ、検討をしている最中です。したがって、この決算をそのまま認める訳にはいかないとの理由により、採決の結果賛成少数で不認定となりました。



**緒方町  
不認定**

◆一般会計の基金(貯金)状況 (平成17年5月31日現在)

基金名	金額
財政調整基金	14億4,456万6千円
減債基金	10億6,076万5千円
その他特定目的基金	27億6,199万8千円
その他定額運用基金	6億2,916万7千円
合計	58億9,649万6千円

◆特別会計の基金(貯金)状況 (平成17年5月31日現在)

基金名	金額
国民健康保険基金	6億8,152万5千円
国保直営診療所基金	1,451万2千円
介護給付費準備基金	8,740万8千円
農業集落排水事業基金	1億8,316万4千円
公共下水道事業基金	3,678万1千円
浄化槽整備推進事業基金	776万8千円
簡易水道事業基金	1億6,089万3千円
高額療養費貸付基金	1,550万円
合計	11億8,755万1千円

◆会計別地方債残高(借金)状況 (平成16年度末現在)

会計名	金額
一般会計	383億84万7千円
国保直営診療所	227万2千円
農業集落排水	14億6,466万円
公共下水道	7億4,024万6千円
浄化槽施設	4,300万円
簡易水道	28億7,648万3千円
上水道	10億9,334万7千円
おがた総合病院	39億314万7千円
合計	484億2,400万2千円

広

報

岐阜県下呂市は、平成16年3月1日に4町1村が対等合併で発足しました。総面積851㎢、現在の人口は3万9591人です。

市内には、県立病院、市立病院および診療所があり、また、ケーブルテレビも1地区だけにあります。

議員定数は26人で、小選挙区で選出されています。

さらに、職員数も病院、消防などを含め、17年4月1日現在816人など、本市と類似点が多い市であります。

市議会では、議会の日程一般質問者名、質問開始時刻、質問項目を新聞の折り込みで広報しています。

国営木曾三川公園は、国土交通省が管轄する三重県、岐阜県、愛知県の3県に接する木曾川、長良川、揖斐川の伊勢湾河口から上流約100キロまでの広大な国営公園です。

環境共生型テーマパーク河川環境楽園は、岐阜県各務原市にあり、ここは、国営公園、県立公園、自然共生センターなどで構成された複合型の公園です。



広大な三川公園の維持管理は？

両施設は広大な濃尾平野に位置しています。余りにも規模が大きく、莫大な資金を使った施設なので、委員全員圧倒されました。視察研修の成果をこれらの議会、たより作りに生かしたいと思います。

総

務

中津市民病院は、国立病院時代に赤字続きのため、国の再編計画で廃止対象となりました。

しかし、市長は市民の健康を守るため、地域で担う医療の立場から総合病院を残さなければならぬとの決断をしたそうです。

小児科医療の充実を図り、安心して子供を育てられるよう周辺町村と連携をし、24時間体制となっています。二次医療の充実と医療連



地域の安心のよりどころ…市民病院

携の徹底を掲げ、域内で専門医の充実している科は廃止をし、病院内に地域医療連携室を設置しています。

診療科目は15、看護師は2.5人の患者に対し1人配置しています。

市財政からの繰入金は、基準に従って国からの交付税算入分を措置しています。

病院内に、意見箱を設置しているそうですが、苦情も多く、看護部への教育徹底を行いたいとのこと。今後、検診・介護施設の

併設展開は行わず、民間に委ね、あくまで二次医療の充実と医療連携を図っていくということでした。

豊後大野市も住民福祉の向上を考え、医療の充実と高度化、財政の健全化が最重要課題と改めて認識させられました。

※その他研修先

兵庫県篠山市議会  
神戸市（防災センター）

議 運

沖繩県は、太平洋戦争の本土前線基地として熾烈な戦いをし、今なおその激しかった爪跡が各地に、そして県民の心に残っています。

那覇市は、人口約31万人、沖繩県の政治、経済、文化の中心です。

議員数は44人で、議会運営は会派が大きな役割をしています。現在、8会派があり、議会運営委員は各会派から選出をされています。21世紀を迎え、モノレールを交通の核として整備し市街地の再開発を進めています。

豊見城市は、人口約5万2000人、高齢化率は10.5%で市職員数は389人です。

議員の条例数は、24名で、村議会からそのまま市議会

に移行しており、議会運営委員会は9名で構成。元気のよい勢いのある市という感じがしました。両市とも活力のある自治体であり、議会も活発でした。議会運営は、一定のルールのもとに始まるということを確認しました。



REPORT 視察研修

● 請 願

件 名	請 願 者 氏 名	紹 介 議 員 名	結 果
「改革年金」法の実施を中止し、最低保障年金制度の実現を求める国への意見書の提出をお願いする請願書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	神志那宗作	不採択
定率減税全廃等の増税中止を求める請願書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	神志那宗作	採 択
医療改革に関する国への意見書の提出をお願いする請願書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	後藤 章子	不採択
国の制度として介護保険の保険料・利用料の減免制度創設について国に意見書の提出をお願いする請願書	全日本年金者組合大分県本部 執行委員長 角 安彦	後藤 章子	不採択
個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書提出についての請願	日本労働者総連合会 大分県連合会豊肥地域協議会 議長 江藤 喜啓	首藤 正光	採 択

● 陳 情

件 名	陳 情 者 氏 名	結 果
国道10号から砕石場への道路の市道化などの要望書	犬飼町商工会 会長 羽田野 力	継続審査
要望書 商工業振興施策の推進について	三重町商工会 会長 伊藤 逸男 他6名	採 択
急傾斜地崩壊危険箇所指定地災害復旧工事に関する陳情書	緒方町小宛(牧原)地区 組長 阿南 康彦 他1名	採 択
木浦内ダム中止に伴う地区活性化対策について	大野町木浦内地区 代表 安東 昇一 他1名	採 択



# 16名 市政を問う!

12月定例会

## 一般質問



宮成 昭義



### 市長の基本的方針は

質問

18年度予算編成に当たり予算配分と、その主要事業についての考えを。

答弁 市長

国の三位一体改革に伴う交付金や補助金の動向を見極め、新市まちづくり5項目の主要施策および過疎計画に基づき選択と集中、座談会での意見・要望などを考慮し、予算配分を考えたと思います。

### 学級編成

#### 教科書採択は

質問

①市独自の少人数学級を取り入れる考えはないか。  
②歴史教科書採択の経緯は。  
③一斉学力テスト結果の学校名公表をどう捉えているか。

答弁 教育長

①県教委との協議および同意が必要であり、財政的援助もない中で実施は難しい。  
②生徒が学ぶにふさわしい教科書採択をしました。  
③あくまでも、生徒の学力実態を分析するための資料提供。  
この公表結果に動揺することなく、最低基準への到達・基礎基本の定着が図れるように指導したい。

大野小学校3年生38人



※その他

・地域スポーツの振興と競技力向上策について  
・公立保育所(園)の課題解決について

恵藤 千代子



質問

介護保険料の試算は。

答弁 保健福祉部長

上昇するのはやむを得ません。

### 地域包括支援センター

質問

地域包括支援センターの方向性は。

答弁 市長

効果的・効率的な見地から市の直営で一箇所、本庁内に設置します。  
実施後、不都合があれば修正ということもあり得えます。

質問

今後の保健師体制と人材確保は。

答弁 保健福祉部長

既存の在宅介護支援センターは、国からの補助が廃止されるので県の対応策を見ていきたい。  
地域包括支援センターの

人材は、保健師、社会福祉師、主任介護支援専門員のそれぞれ2名以上を配置し、市内全域のバランスを考慮して調整していきたい。

### 安全で住みよい まちづくり

質問

子どもの健全育成について。

答弁 教育長

家庭、地域、学校が担うべき機能を明確にし、三者一体となつて教育力を向上させていきたい。

答弁 総務部長

安全なまちづくりの推進については、防犯協会の事業を警察署と共に推進しており、今後全域でのパトロール隊結成に向けて働きかけていきます。



「血圧は大丈夫？」(緒方町在宅介護支援)

佐藤 生稔



市政の基本理念

質問

「意識改革と市民協働」を改革の両輪にすえ、財政の健全化を図らなければ、真のまちづくりはできないと考えるがどうか。

答弁 市長

厳しい財政状況から、行政の役割の明確化と重点化が今後の重要な論点と考える。

市民と共に知恵を出し合い、汗を流そうとの意識改革が必要です。

市民の目線に立って対話を重ね、信頼関係を構築し、「市民が参加する協働・共創のまちづくり」を目標とします。



指定管理者制度を導入している「道の駅みえ」

指定管理者制度

質問

制度の導入には、「公の施設」は何のために、誰のためにあるのかという基本的な問いかけと同時に、民営化や廃止を含めた総合的な検討と議論を深める必要があると考えるがどうか。

答弁 市長

この導入は、住民サービスの観点、行政改革の立場からも重要な課題です。

いわゆる「公の施設」の数は218で、管理費は人件費を含め19億6千万円です。

現在、管理運営を委託し

ている観光・福祉施設が59あり、18年4月をめどに制度の導入に向けて条例の整備など準備を進めています。民間能力の活用という法改正の趣旨を踏まえ、市の出資法人などを改めて検証し、廃止、統合を含めた総合的な見直しを行政改革審議会などで十分に協議していく考えです。

佐藤 辰己



周辺地域に活力を

質問

市政座談会の結果と今後の対策は。

答弁 市長

財政に対しての厳しい意見、地域が寂れるのではないかと不安、中心部への道路網整備の要望など貴重な意見をいただきました。地域における活力の維持・

増進が今後の市政運営の重要な課題であり、行政改革を推進しながら生きがいの持てる事業展開を行っていきます。

質問

第1回豊後大野市ふるさと振興祭の評価は。

答弁 企画部長

「さあ、はじめよう協働のまちづくり」をキャッチフレーズに旧町村単位で実施しました。

今後は、ふるさとの振興と新市としての一体感のある祭りとなるよう検討します。

取り組み！

農業基盤の確立

質問

地域水田農業ビジョン策定は。

答弁 産業経済部長

将来方向を明確にした農業ビジョンによる産地づくりが大切です。

各関係機関が一体となって取り組み、策定後は、各集落規模の座談会を検討しています。

在校生の不安解消を

質問

三重高校・三重農高・緒方工高の在校生に対する支援策を考えては。

答弁 教育長

今後、学習・体育の環境が大きく変わり、不安な面があると思われるので、進路指導を含め支援を行っていききたいと思います。

※その他

長期総合教育指針の確立について



ただいま授業中…。(三重高校1年2組)

神志那宗作



敬老事業に支援を

質問

合併で、多くの敬老事業が廃止された。せめて敬老会補助と金婚式ぐらいは復活してはどうか。

答弁 市長

合併協議で決まったことは1、2年遵守していかなければならぬ。その後財政が持ち直せば検討したい。

子育て支援のために

質問

・医療費を小・中学生まで無料に。  
・保育料の負担軽減を。  
・放課後児童クラブの拡充、子育てネットワークづくり。

答弁 市長

小学校入学前までの医療費無料化、第2子3歳未満児の保育料半額減免を検討しています。  
放課後児童クラブは、現在9箇所を1箇所増やし、市内全域の子育て支援ネットワークづくりに努めます。



よーく、狙ってね!(緒方町)

悪臭公害防止対策を

質問

三重原区付近の悪臭被害の実態と発生源を把握。見学会や説明会を行い、企業や業者に悪臭防止策の

改善を要請し、行政支援を行ってはどうか。

答弁 生活環境部長

発生源と思われる4施設を県と調査し、事業所に改善指導を行っています。  
業者には、①臭気を燃焼させる、②消臭菌を使用する、③施設を整備改善するなど要請しており、悪臭が低減されると思っています。  
現地見学や説明会は、業者にご理解をいただいています。

※その他

若者住宅の建設

衛藤 竜哉



議会の生中継を

質問

本会議を本庁舎内に中継できないか。

答弁 市長

中継を行うためには、新たにカメラ・モニターの設置、庁舎内への配線を行う必要があります。本庁舎のみの中継に関しては、複雑なシステムではありません。支所や各地域の公共施設へ、映像により行政情報の配信を行うシステムを構築すれば、その設備の中に包括されます。  
公平で迅速な情報ネットワークの構築について検討をしていこうと考えています。

指導員の育成を

質問

子育て支援の取り組みは、もっとしっかりした組織を推進すべきでは。

答弁 保健福祉部長

児童の健全な育成のために、児童館および放課後児童クラブのスタッフは、県主催の研修などに参加して資質の向上に努めています。



議会中継を庁舎内へ流している岐阜県下呂市議会(広報委員会研修より)

放課後児童クラブの運営は、直営・委託を問わず市内9箇所の情報交換など、横のつながりが必要であると考えています。  
今後そのような機会の開催を検討してネットワークの形成に努めていきます。

赤嶺 謙二



「まちなづくり計画」  
どうなっている

質問

「合併して一つも良いことがない」という声に代表されるように、合併協議会が昨年出した基本計画は十分に理解されてない。年度ごとの具体的な実施計画を、いまこそ市民に示すべきでは。

答弁 市長

現在、総合計画の策定に取り組んでいます。

平成18年度から、基本構想は10年間、基本計画は5年間とし、18年の12月議会に提案したい。

具体的な実施内容は3年間計画で取りまとめをしたと思います。

職員配置の適正化

質問

ただ単に職員や給与を減らすだけでは、本市の未来はない。小さな行政・事業・サービスとなるだけだ。

計画に基づいた組織・機構の見直し、その事務量によって職員配置の適正化を図るべきと考えるが。

答弁 市長

現在の職員数は857名、類似団体と比較すると182名多い状態。

本年中に集中改革プランを策定し、方針に沿った職員数の計画的な削減と管理組織・機構の見直し、職員の適正配置を行っていききたいと思います。



プレハブづくりの本庁第2庁舎

質問

危機感を共有するために、財政状況の四半期ごとの公表を。

答弁 市長

情報公開の観点から、時期を考えて公表します。

高山 豊吉



台風14号への  
対応と検証

質問

避難勧告の発令は。

答弁 市長

市内各地で多大な被害が発生しました。

犬飼町でも旧犬飼小学校跡地の浸水により消防団長・副団長・支所長が協議。現状報告を本庁災害対策本部が受け、市長名で避難勧告を発令しました。

質問

消防団や自治委員との連携。

答弁 市長

避難勧告発令により犬飼支所から地元の自治委員に連絡。消防団と自治委員と一緒に避難場所まで誘導しました。

どうする？

今後の取り組み

質問

地域防災計画は。

答弁 市長

台風時には新しい地域防災計画は策定中でした。内容は市報などに掲載し、理解と協力を得たいと考えています。

質問

災害復旧の状況を問う。

答弁 市長

現在、国の災害査定途中であり、終了次第、順次工事の発注を行いたい。



水没した河川公園（犬飼支所下）

質問

浸水が想定される区域の防災事業は。

答弁 市長

計画に基づき河川改修などを考えています。今後はさらに災害対策、危機管理を強めていきたい。

※その他

防災無線について

渡邊 一文



計画的な市職員の削減を

質問

平成16年度の自主財源は27%、人件費は24%です。

人件費が自主財源を上回らないような企画・運営をすべきと考える。職員削減の進捗状況は。

答弁 市長

行政改革推進本部の設置により、行政改革の指針、計画を策定し、類似団体の職員数を目標に5年後、10年後の目標数値を定めます。

職員の定数管理は、定年退職者に加え、若干の優遇措置を講じながら希望退職者

の募集を行っていきま  
す。退職に伴う補充も財政  
計画に基づき最小限に抑  
えていく考えです。

答弁 総務部長

毎年、定年退職者平均  
20名、採用3名で11年  
後には修正値の人員に  
到達する予定です。



本庁舎 正面玄関

橋本 祐輔



おがた総合病院のさらなる充実を

質問

患者が安心して受診できる医療機関となり、地域における医療の信頼性を高めるとされている病院機能評価の受け入れはいつか。

答弁 病院長

18年3月に申請を予定  
しています。

質問

今年度一般会計から、病院に繰り出されずに留保されている金額はどのくらいか。

答弁 病院事務長

病院があることにより一般会計に交付税措置などされる金額から、病院に繰り出される額の差額は約3600万円から4000万円



おがた総合病院 中央処置室

となり、これが、一般会計に留保されます。

職員の弾力的な適正配置を望む

質問

台風災害に伴い、超過勤務が2週間で113時間という職員の過重労働に、どう対応しているのか。

答弁 助役

労働安全、健康管理に関する部分は、執行部の責任。労働安全衛生委員会を11月に立ち上げ、おがた総合病院長を含む委員と協議し、対象者への面接、管理者に対する指示などを検討していきたいと思います。

後藤 章子



市民本位の「行財政改革」を

**質問** 公共事業は、住民生活にとって真に必要なものにとどめるべきと思うが。

**答弁** 市長 市民と行政の役割・責任の分担による協働のまちづくり、選択と集中による事務事業（必要性、緊急性、有効性、コスト性など）を総合的に考慮していきます。庁舎建設は、財源などをにらみながら検討します。

**質問** 国保税および一部負担金の減免制度を。  
**答弁** 生活環境部長 18年度中の実施をめどに準備を進めています。（要綱などの検討）

**質問** 乳幼児医療費の無料化を。  
**答弁** 保健福祉部長 18年度に向けて、小学校就学前までの無料化を検討しています。

**質問** 介護保険法の改正に伴う利用者の負担増に対する低所得者への減額を。  
**答弁** 保健福祉部長 本来国の責任で制度化すべきであり、市独自の軽減対策は考えていません。

**質問** 職員の資質の向上が急務。  
**答弁** 総務部長 全職員が初心に立ち返り、市民全体の奉仕者としての自覚を高めていく立場で積極的に対応していきます。

**質問** 支所に独自財源の保障を。  
**答弁** 総務部長 支所の裁量とすべき事務事業の規模や内容、本格的な本庁方式に向けた支所職

員の配置など、真摯に検討します。



育児学級（絵本の読み聞かせ） 大野保健センター

安藤 豊作



若者の定住促進を

**質問** 雇用対策として、地場産業の育成支援や企業誘致を。

**答弁** 市長

長引く景気低迷で企業経営も厳しい状況です。企業の健全な発展と経営基盤強化のための、各種融資制度の情報提供や、新分野進出に向けた支援を進め、雇用の確保を図ります。また、中九州横断道路や幹線道路整備が進んでおり、新たな工業適地を探しています。

**質問** 核家族化が進んでいるので、若者向けの住宅建設を。  
**答弁** 総務部長

現在進めている住宅整備事業の進捗状況を見ながら、住宅需要の動向を把握し、ニーズにあった住宅建設を検討していきます。

市有財産の管理は

**質問** 学校跡地や遊休施設の管理と今後の利用計画は。

**答弁** 総務部長

小学校5校、中学校2校が未利用です。公の施設としての再利用や周辺地域の利活用も含め、自治会などの意見を聞きながら検討していきます。

**質問** 市有林の管理計画は。  
**答弁** 産業経済部長

看守人による管理をしており、風倒木などの把握もしています。現在復旧も検討中であり、18年度に森林整備計画の見直しを行います。



千歳町のさわやか団地

三浦 正吉



歩道の設置を  
(大原グラウンド)  
JR踏み切り間1km

質問

大原スポーツ施設の利用者は急速に増加しており、2008年大分国体での剣道、馬術の会場として決定されている。  
また、市民の生活道路として交通量は、増加の一途です。早急な整備が必要では。

答弁 市長

農業大学校から大原グラウンドの340m分については、1期計画として、18年度の国庫補助事業への採択申請を考えています。残りは、2期計画として考えたい。

国道502号  
三重〜野津間の  
整備を

質問

火葬場(三重斎斎場)付近は、幅員も狭く、カーブも多く危険地帯です。この区間だけが取り残されているが。

答弁 市長

国道502号の清川地区が19年度に完了予定です。質問の区間については、期成会として、国、県に強く要望していきます。



ここは、狭いなあー。

少子・高齢化社会の中で、  
若者に行政支援を

質問

結婚・出産祝い金支給で若者に活力を。

答弁 企画部長

祝い金制度では、少子化に歯止めをかけることは困難だと考えています。むしろ魅力あるまちづくりの創出、雇用の場の確保などを講じていきたい。現在、祝い金に代わり絵本3冊、コットンバッグなどを贈呈しています。

首藤 正光



労働者の  
福祉行政充実を

質問

労働者で組織する豊後大野地区労働者福祉協議会への対応策と助成をどう考えるか。

学校教育の  
あり方

質問

新設される三重総合高校と市の関わりは。

答弁 教育長

進学・就職・部活の指導者などの確保、施設の利用への支援・援助を図りたい。具体策としては、通学環境の整備、指導者の養成、施設の充実などについて県教育委員会に要望しています。

質問

県が実施した「学力テスト」の結果公表について。

答弁 教育長

小・中学校を対象とした一斉学力テストは、到達目標に達していると判断できる得点を、目標値として定めています。

公表の結果だけで判断されるべきものではないと考えます。

答弁 市長

5町2村それぞれの従業地で加入していた勤労者は、合併により一本化した訳です。すから、市としての一体的な対策を講じなければならぬと考えます。

豊後大野地区労働者福祉協議会へ市内の労働団体が加盟する以上、その福祉事業のさらなる活性化と経済的・文化的向上を図るため、助成を検討したいと考えています。

市は、産業経済部商工観光課商工労政係が担当です。



輝く君の青春…三重総合高校制服

清田 満作



施政方針を問う

質問

施策・事業推進については、選択と集中による年次計画を示し、市民に理解と協力を求める時期にあるが、どのように状況整備をするのか。

また、市民の声をどのように捉えるのか。

答弁 市長

座談会を通じて、行政改革への叱咤激励と、課題への不安が強いと感じました。

住民との協働のまちづくりが必要とのことから、総合計画、実施計画策定の中で意見を具体化していきます。

また、事業の業績評価システム導入を検討します。



椎茸の駒打ち作業

行政は行動を起こせ！

質問

身近な事象、事業こそ、周辺地域への配慮が必要である。

合併により周辺地域が、大きな課題に直面している。その対応は。

また、各生産組織・組合は、生産者の立場での効率性、利便性を生かすべきである。

さらに、地域振興策として、一体・総合的な産業の組み立てこそが必要と考えるが。

答弁 産業経済部長

行政として適切なアドバイスを行います。

組織のあり方は、関係機関と協議し、市の営農指導体制確立に努めます。

事業の推進は、行政として成すべきことは成し、言うべきことは言い、取り組んでいきたいと考えています。



衛藤 正宏



生活排水への取り組み

答弁 市長

新市におきましては、現状より環境汚染が悪化するここのないよう環境保全条例を制定すべく検討していきます。

質問

本市の環境条例を整備し、環境保全と施策を計画的に推進する必要があると思うが。

段階的に合併浄化槽の推進を図り、市内の環境保全に努めます。



注目されている風力発電

新エネルギーについて

質問

地球温暖化対策として、クリーンな新エネルギーの開発や導入が全国各地で図られています。

本市の考えは。

答弁 企画部長

新エネルギー財団からの市への助成制度が廃止されたため、市独自の助成は考えていません。

環境問題については、市報や講演会などでの啓発活動に努めます。

# 存続の願い届かず…。

本委員会（委員長 小野泰秀）は、県が発表した振興局の再編案は論拠に乏しく承服できない旨を告げ、再考を県に働きかけてきました。

しかし、その願いは届かず、12月県議会において、再編案が原案のとおり可決されました。大変残念な結果です。

市民の皆様から3万有余の署名をいただきながら目的を達成できず、12月21日の議会で特別委員会を解散しました。

今後は、県に対し、18年度から配置される地方事務所の機能の充実強化を求めるところ。

農林業や商工業への専門的な助言、再編が予想される土木事務所や保健センターなどは、本市への特段の配慮を。

さらには、道路網の整備、周辺部対策の実施など強く要望をしていきたいと思っております。

最後に、これまでの市民皆様のご支援、ご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。



地方振興局存続対策特別委員会

## 設置しました



### 旧緒方町馬場地区商業ゾーン整備事業調査特別委員会

#### ■目的

旧緒方町馬場地区商業ゾーン整備事業に関する事務処理などの調査

#### ■設置の根拠

地方自治法第110条および委員会条例第6条

#### ■調査期間

調査が終了するまで

#### ■委員名簿

委員長	小野 泰秀
副委員長	三浦 正吉
委員	深田 正和
	衛藤 正宏
	高山 豊吉
	佐藤 徳宣
	長野 健児
	佐藤 生稔
	恵藤千代子
	佐藤 辰己

#### 地方自治法

#### 第110条とは？

普通地方公共団体の議会は、条例で特別委員会を置くことができる。

#### 委員会条例

#### 第6条とは？

特別委員会は、必要がある場合において議会の議決で置く。



商業ゾーン「祖母の郷」

# 行財政改革

## 特別委員会を開催

1月18日の3回目の委員会では、私たちの課題である「議員定数26人と報酬」について意見交換をしました。

自主財源の少ない本市としては、行財政改革の必要性は、委員全員の意見が一致するところです。

今後の進め方として、行財政改革に対して、議員の立場でチェックや提言を行うていくことを確認しました。結論は、まだ出せませんが、さらに議論を深めたいと思います。

(委員長 浅野益美)



### ◆議員の定数・報酬および費用弁償などの状況

市名		豊後大野市	大分市	竹田市	由布市
人口		41,551人	462,322人	26,532人	35,393人
面積		603.36km <sup>2</sup>	501.13km <sup>2</sup>	477.7km <sup>2</sup>	319.16km <sup>2</sup>
議員定数	法定上限数	26人	46人	26人	26人
	条例定数	26人	46人	24人	26人
	現在数	31人(定数特例)	48人(定数特例)	28人(定数特例)	26人
	施行年月日	平成17年3月31日	平成17年1月1日	平成17年4月1日	平成17年10月1日
報酬	議長	379,000円	766,000円	402,000円	380,000円
	副議長	340,000円	695,000円	362,000円	340,000円
	議員	321,000円	641,000円	340,000円	320,000円
	施行年月日	平成17年3月31日	平成8年4月1日	平成17年4月1日	平成17年10月1日
会議、委員会の費用弁償		片道2kmを超える場合1kmにつき40円	出席した日数につき7,000円	片道2kmを超える場合1kmにつき37円	2,400円/日
常任委員会常視察旅費		1人年間80,000円上限	1人年間180,000円	1人年間180,000円	1人年間120,000円上限
議会運営委員会常視察旅費		1人年間80,000円上限	1人年間180,000円	1人年間34,400円	
特別委員会常視察旅費		1人年間80,000円上限(広報編集のみ)	1人年間130,000円		
政務調査費			1人年額1,200,000円(会派に交付)	1人年間180,000円	

※人口は、H17.10.1 国勢調査による県の速報値

### 中山間地域等直接支払交付金 過払い調査特別委員会を開催

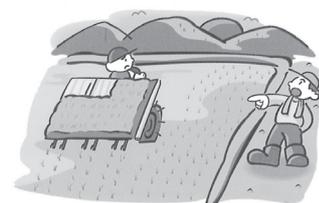
1月11日まで4回開催し、助役・担当部(課)・緒方支所長・当時の担当者から経緯を聞いています。

過払いの原因は、農振農用地区域内の農用地および傾斜区分の判定に対する考え方にミスがあったようです。

過払い額は、旧緒方町38集落に対し、約1億930万円とみられています。現在、市は国や県と確定額の精査をしています。

今後は、過払いの原因の詳細、再発防止対策、過払いの返納についてなど、委員会としての見解を中間報告をする予定です。

(委員長 神志那宗作)



# キラリ 一言

新市・議会に対する意見など  
それぞれの思いを語っていただきました



## 市民参加の 「仕組み」と「仕掛け」

朝地町池田  
森 誠 一

平成17年11月13日、9時から15時までの6時間。「第1回朝地ふれあい体育祭」に参加した千人以上の市民は、地域に新しいスポーツ行事が生まれたような新鮮な印象を受けました。

合併以前にも「町民体育祭」として20回以上実施されてきた行事ですが、本年は「地区スポーツ振興会」の企画で実施されました。中学生がボランティアスタッフとして加わり、高齢の方でも参加できる種目を増やすなど市民のアイデアがたくさん盛り込まれたイベントでした。

「住民参画」と一言で表現してもその実現がなかなか難しいと悲観的に考えがちですが、私たち市民には地域の暮らしをより良くしていこうとする際に障害となる事象に対して「なぜできないか」、「どこに問題があるのか」を分析し、「できる仕組みづくり」のための提案をすることが求められていると思います。

しかし、市政に地域の意見を反映させるための「仕組み」や「仕掛け」は今充分でしょうか？



## 「地方の時代」を再考

緒方町知田

森岡 雄 平

先日、集落営農の説明会に出席した。数年後には米が一俵一万円を切るかも知れない。先輩農家の心の底からの言葉を聞いた。「国の言われるまま従ってきた我々は、一体何であったのか」と。

来年度から高校が統一され、工業高校、農業高校など特殊な高校もなくなり、地域の高校がなくなることで、遠くまで通学しなくてはいけなくなる。少子化と財政難ゆえの学校統合なのでしょうか。これから世の中へ子どもたちを送っていく立場として、子どもたちにさまざまな夢を育てる教育を受けさせてやりたい。そのための家計の不安もある。

地方の時代といわれた時もあった。しかし、相変わらず上からのルールに乗せられるしかないような気がする。

新しい市になった今、新たに力を合わせて、独自の文化を築いていけるように先導をしていただきたい。



調子を合わせて、イチ、ニ！イチ、ニ！  
(朝地ふれあい体育祭)

◇3月定例会は  
3月7日(火)に  
開会予定です。

詳しくは議会事務局  
(TEL22-1001)へ  
お問い合わせください。

委員 長	高 山 吉
副委員 長	赤 嶺 謙 二
委員 長	安 藤 豊 二
委員 長	小 野 健 作
委員 長	衛 藤 一 哉

■広報編集  
特別委員会

## 里 帰 り

幾つになっても 子は子ども  
傘寿すぎても 気をつかう  
酒はほどほど タバコはやめろ  
逢えばいつもの お説教  
それが嬉しい 里帰り

散歩がてらに 古里の  
表に出れば なつかしい  
となり近所のおばちゃん達と  
昔ばなしに 花が咲く  
それが楽しい 里帰り

休暇も終わり 別れの日  
痛む両足 踏んばって  
来年もまた 帰って来いと  
見送る親の 瘦せた顔  
それが気になる 里帰り

※今年も正月には、ふるさと  
に多くの人が帰ってきました。  
た。こんな気持ちで、また  
都会へと旅立った人たちも  
いたのでは。(A)